



第 1 期

中間報告書

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.

証券コード 2296



私たちは事業を通じて、
健やかで豊かな社会の
実現に貢献します

代表取締役社長

宮下 功

当第2四半期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2016年4月1日～2016年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調で推移しましたが、

円高による企業業績の減速感の強まりから個人消費に一部弱さが見られ本格的な景気回復までには至りませんでした。また、新興国や資源国の景気減速、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性もあり、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、国産牛肉の高

値相場が継続していることや消費者の生活防衛意識の高まりなど消費マインドが足踏み状態となる中、食料品等の日常生活品に対する低価格志向による企業間競争が激化しており、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、4月1日に共同株式移転による経営統合を行い、事業規模の拡大を図るとともに両社の強みを持ち寄り、シナジー効果を創出し、持続的成長と企業価値の向上に向けてグループ一丸となって取り組んでお

ります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,988億78百万円、営業利益は105億12百万円、経常利益は119億57百万円となりました。また、投資有価証券売却益19億49百万円を特別利益に計上し、税金費用等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、95億26百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績の概要

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益	1株当たり配当金 (円)
2017年3月期第2四半期	398,878	10,512	11,957	9,526	—
2017年3月期通期予想	800,000	20,000	22,000	15,000	15.00

「中期経営計画2020」

～ネクストステージへ～

始動

当社グループではグループ理念を定義するとともに
2016年度より5年間を対象期間とする「中期経営計画2020」を策定いたしました。
全社一丸となって本計画を実行し、ビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。

グループ理念

私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します

ビジョン

フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、
従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー

業績目標

2020年度には調理加工食品の売上高をハム・ソーセージと同水準まで伸長させ、ハム・ソーセージに加え、調理加工食品でも上位メーカーになることを目指します。

(単位：億円)

	2015年度実績	2018年度計画	2020年度計画
売上高	8,174	9,000	10,000
経常利益	182	260	300
経常利益率(%)	2.2	2.9	3.0
売上高内訳			
調理加工食品	1,121	1,500	2,000
ハム・ソーセージ	1,742	1,900	2,000
食肉	5,201	5,500	6,000

※2015年度実績は、伊藤ハム・米久決算実績の単純合算値で表記しております。
また米久株式会社の2015年度実績は13ヶ月決算です。

本計画骨子

- ▶ 2020年度には売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上を達成し、ビジョンの実現を目指します。
- ▶ 成長する商品カテゴリー、販売チャネルへの取組(成長市場への対応強化)に最注力し、並行して「既存事業の規模拡大」を図ります。また、シナジー効果を追求し「コスト競争力強化」「機能再編」を進めます。
- ▶ 企業規模の拡大を支える経営基盤も強化します。

事業規模 拡大

- 成長市場対応強化
- 既存事業拡大

効率化・ 競争力強化

- コスト競争力強化
- 機能再編

両立

経営基盤強化

- 経営管理体制の強化
- メリハリのある経営資源配分
- 人材活用と育成

基本戦略

事業規模拡大

- 1 調理加工食品増強
- 2 海外生産と海外市場での販売拡大
- 3 ハム、ソーセージのシェアアップ
- 4 国内食肉生産の拡大
- 5 実需への到達力強化

効率化・競争力強化

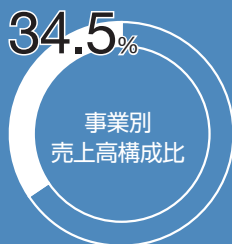
- 1 生産の最適化
- 2 仕入業務の効率化・競争力強化
- 3 物流業務の効率化・競争力強化
- 4 機能再編

事業別の概況



加工食品事業

- 売上高 1,374億円
- 営業利益 60億円



当第2四半期の取り組み

ハム・ソーセージ

消費者の低価格志向から販売競争が激化する中、コンシューマー商品では主力商品を中心にキャンペーンなどによるプロモーションを実施するとともに、業務用商品についても積極的に拡販に努めた結果、販売量、売上高ともに伸長しました。

調理加工食品

ハンバーグ類・チルドピザなどの主力商品が好調に推移したことに加え、中食市場への提案を強化したことでワンハンドスナック類やトンカツ・ハンバーグ類などのデリカ商品の売上が大幅に伸長しました。

中元ギフト

ギフト市場全体が低迷する中、伊藤ハムのフラッグシップギフト「伝承」を中心に堅調に推移しました。

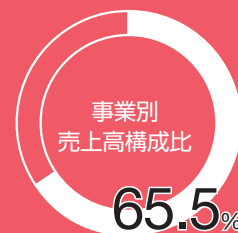
当第2四半期の業績

当第2四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は1,374億30百万円、営業利益は60億65百万円となりました。



食肉事業

- 売上高 2,613億円
- 営業利益 50億円



当第2四半期の取り組み

国内事業

国産牛肉の高値相場が継続した一方で、国産牛肉以外の畜種で販売単価が前年より下落する厳しい販売環境となりましたが、牛肉においては、輸入チルドビーフを中心に販売数量が大幅に伸長しました。また、豚肉においては、オリジナルブランドの拡販に注力し、輸入豚肉を中心に大幅に販売数量を伸ばしました。

海外事業

アンズコフーズ社が為替の急激な変動や海外食肉相場下落の影響により、売上高が大幅に減少しました。

当第2四半期の業績

当第2四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は2,613億77百万円、営業利益は50億73百万円となりました。

四半期連結財務諸表(要約)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2016年9月30日現在
資産の部	
流動資産	211,621
固定資産	148,526
有形固定資産	82,593
無形固定資産	28,466
投資その他の資産	37,466
資産合計	360,147
負債の部	
流動負債	123,308
固定負債	33,138
負債合計	156,446
純資産の部	
株主資本合計	198,789
資本金	30,000
資本剰余金	98,005
利益剰余金	70,788
自己株式	△4
その他の包括利益累計額	△1,984
新株予約権	220
非支配株主持分	6,674
純資産合計	203,700
負債純資産合計	360,147

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34
現金及び現金同等物の増減額	3,076
現金及び現金同等物の期首残高	30,459
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,601

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
売上高	398,878
売上原価	336,024
売上総利益	62,854
販売費及び一般管理費	52,341
営業利益	10,512
営業外収益	2,355
営業外費用	910
経常利益	11,957
特別利益	2,177
特別損失	218
税金等調整前四半期純利益	13,916
法人税等合計	4,176
四半期純利益	9,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	213
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,526

資産、負債及び純資産の状況

資産 3,601億47百万円

(内訳) 現金及び預金419億13百万円、受取手形及び売掛金803億80百万円、商品及び製品533億26百万円等の流動資産が2,116億21百万円、有形固定資産825億93百万円、無形固定資産284億66百万円、投資その他の資産374億66百万円の固定資産が1,485億26百万円

負債 1,564億46百万円

(内訳) 支払手形及び買掛金633億68百万円、短期借入金145億29百万円等の流動負債が1,233億8百万円、長期借入金263億14百万円等の固定負債が331億38百万円

純資産 2,037億円

(内訳) 資本金300億円、資本剰余金980億5百万円、利益剰余金707億88百万円等の株主資本が1,987億89百万円

Topics

上半期のおもな
ニュースをご紹介します

伊藤ハム ユニセフ支援活動



贈呈式写真

左より伊藤ハム・柴山社長、
日本ユニセフ協会・早水専務理事

伊藤ハムは、毎年1月から2月にかけて販売される対象商品の売り上げの一部を、ユニセフへ寄付する活動を行っています。

2008年度から2015年度までは「タンザニア支援プロジェクト」として、タンザニア連合共和国での栄養事業への支援を継続してきました。2015年度からは新たに「子ども未来プロジェクト」をスタートし、アジアの子どもたちの教育機会を提供する活動も支援しています。本年4月には、「タンザニア支援プロジェクト」「子ども未来プロジェクト」合計で24,526,800円を寄付しました。

「タンザニア支援プロジェクト」は8年間継続し一定の役割を果たしたことから、今後は「子ども未来プロジェクト」に注力し、引き続きお客様の善意を、ユニセフを通じてアジアの子どもたちにお届けします。

2015年度 対象商品(一部)



ポークビッツ



ロイヤルポール
ウイナー



伝統を誇る贈り物「伝承」 伊藤ハムお歳暮ギフト

伊藤ハムは、「伝統を誇る贈り物「伝承」」をキャッチフレーズに、2016年度のお歳暮ギフトを販売します。

今歳暮より、テレビCMをはじめとする総合コミュニケーション戦略を大きく刷新しました。新しいイメージキャラクターとして、歌舞伎界から九代目松本幸四郎さんをお迎えし、創業八十余年にわたる当社の「伝統」「歴史」「ハムづくりの想い」を、トップブランドである「伝承」を通じて伝えていただきます。

お客様に「贈って満足」「もらってうれしい」ギフトと感じていただき、贈る方ももらう方双方が「贅沢感・本物感」を共有いただけるようなブランドを目指します。



新しいイメージキャラクターに九代目松本幸四郎さんを起用



「伝承」シリーズ

yonekyu 2016年度富士山基金への寄付実施

米久は8月29日、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が運営する「富士山基金」へ、富士山の標高3,776mにちなんだ3,776千円の寄付を実施しました。この活動は、主力商品の「御殿場高原[®]あらびきポーク」や「肉だんご甘酢だれ2袋付」など商品の売上の一部を寄付するもので、2009年からの寄付金額は合計で28,000千円を超えました。寄付金は、富士山の環境保全・保護活動などに使用されています。

対象商品のパッケージに富士山保全活動応援ロゴを加えて、消費者の皆様へPRしていきます。

対象商品



富士山保全活動
応援ロゴ

(左) 御殿場高原あらびきポーク
(右) 肉だんご甘酢だれ2袋付



贈呈式の様子

左より、米久・野口常務執行役員、御園生社長、
富士山世界遺産国民会議・武田事務局長、
湯原事務局長代理

yonekyu 2016年秋の全国プロモーション

米久は9月より秋の全国プロモーションを開始しました。

9月1日から10月31日までの「米久 秋のプレゼントキャンペーン」では、主力商品「御殿場高原[®]あらびきポーク」をはじめ、複数の商品を対象に販促施策を実施。それに時期を合わせてアイドルグループ「ももいろクローバーZ」を起用した、御殿場高原あらびきポークの新テレビCMを全国規模で放映しました。また、店頭での小型モニターやホームページにも特典映像を並行させ、テレビ・店頭・Webの3方面からの映像展開で認知度向上と販売促進を狙いました。



ももいろクローバーZを起用した新テレビCM、御殿場高原あらびきポーク

“はじける、うま味。”をパッケージやCMで押し出し、御殿場高原あらびきポークの魅力を大きく訴求しました。



消費者キャンペーンには、予想を大幅に上回る応募をいただき、好評を得ました。

会社概要・株式の状況 (2016年9月30日現在)

会社概要

商号 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
(英文名: ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.)

事業内容 食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、惣菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務

本社所在地 東京都目黒区三田1丁目6番21号

設立 2016年4月1日

資本金 300億円

従業員数 7,552名(連結)

役員

取締役

取締役会長 堀尾 守

代表取締役社長 宮下 功

代表取締役副社長 柴山 育朗 伊藤ハム(株)代表取締役社長

取締役常務執行役員 御園生 一彦 米久(株)代表取締役社長

取締役執行役員 石井 隆 経理財務部・人事総務部・IR広報部担当

取締役執行役員 市田 健一 経営企画部担当

取締役執行役員 奥田 英人 CSR部担当

取締役(社外) 棟方 信彦

取締役(社外) 種本 祐子

監査役

常勤監査役 藤原 芳士

非常勤監査役(社外) 今村 昭文

非常勤監査役(社外) 市東 康男

株式の状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株

発行済株式の総数 297,347,059株

株主数 37,519名

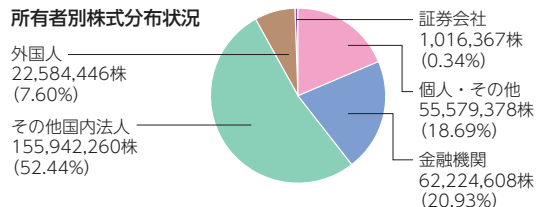
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三菱商事株式会社	115,779	38.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,778	4.97
公益財団法人伊藤記念財団	12,000	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,985	3.02
エス企画株式会社	8,433	2.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,303	2.11
株式会社三井住友銀行	6,303	2.11
公益財団法人伊藤文化財団	6,200	2.08
株式会社みずほ銀行	5,043	1.69
丸紅株式会社	3,549	1.19

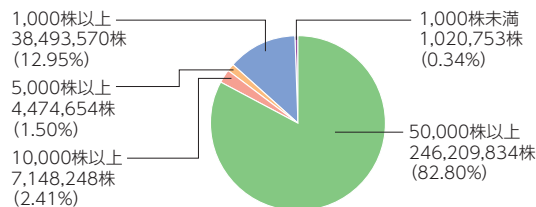
(注) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

株式分布状況

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモ

上場市場 東京証券取引所市場第一部
証券コード 2296
1単元の株式数 100株
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 毎年3月31日
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

公告掲載方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

公告掲載URL <http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/ir/e-koukoku/index.html>

株主優待制度の ご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を長期間保有していただくため、株主優待制度を導入することといたしました。

2017年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有する株主様を対象として開始いたします。

●対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。

●優待内容

5,000円相当の当社グループ商品を贈呈いたします。

●贈呈時期

2017年6月中旬より順次お届けを予定しております。



※写真はイメージですので、商品の内容は一部変更になる場合がございます。

当社ホームページのご案内



商品情報などは
各社ホームページより
ご覧ください。



IR情報につきましては、当社のホームページにも掲載されておりますので、ご覧ください。

伊藤ハム

検索

<http://www.itoham.co.jp>

米久

検索

<http://www.yonekyu.co.jp>

伊藤ハム米久ホールディングス

検索

<http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/>

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
本社 〒153-8587 東京都目黒区三田1丁目6番21号



見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。